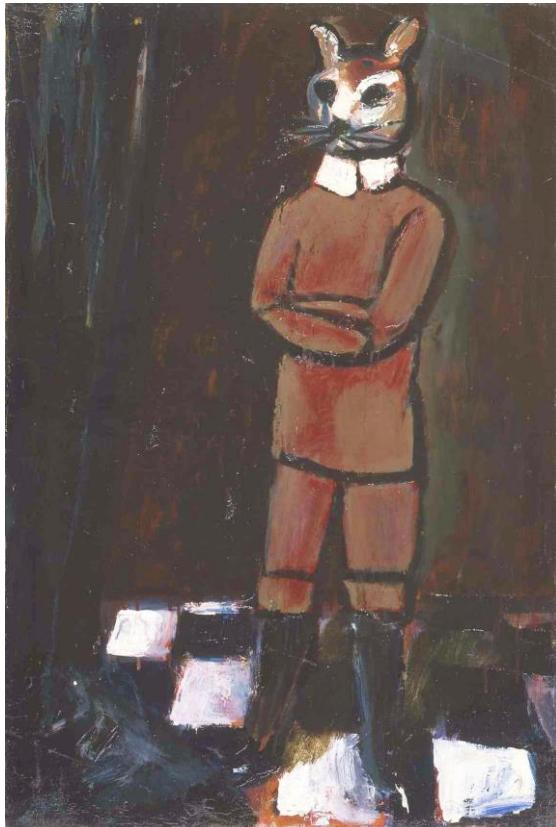


ミギシ〈猫〉の謎に迫る! 三岸好太郎とエピナール版画

〈猫〉は三岸好太郎の代表作で当館の人気作品です。三岸作品の成立事情については、作家本人の文章や関係者の証言などを通じて多くの事が判明していますが〈猫〉については長年謎に包まれていました。今回の土曜セミナーでは、その実態を探り〈猫〉の謎に迫ります。手がかりはフランス東部のロレーヌ地方で制作された民衆版画。

果たして〈猫〉のしっぽをつかむことはできるでしょうか?



三岸好太郎〈猫〉 1931(昭和 6)年
北海道立三岸好太郎美術館所蔵

2017年 3月4日(土) 14:00~約1時間

講師: 苦名 直子

(北海道立文学館主任学芸員・前三岸好太郎美術館学芸員)

会場 当館展示室(1階・40席)

参加できます。



Le chat s'en alla chez le roi, lui fit une belle révérence et lui dit: Sire, voilà un lapin de garenne que mon maître le marquis de Carabas vous envoie. Le roi le remercia beaucoup.

LE CHAT BOTTÉ
(長靴をはいた猫)
Imagerie d'Epinal, No.1100
19世紀末 ペルラン社

展覧会のご案内

所蔵品展第4期「その名はミギシ 奔放なる天才」1/28(土)~4/16(日)

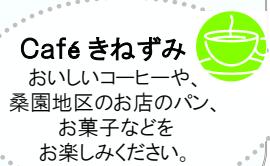
画家、三岸好太郎の生涯と画業を、当館所蔵の代表作でたどります。

9:30~17:00(入場は16:30まで)休館日:月曜日(3/20を除く)、3/21(火)、3/24(金)~4/4(火)

観覧料:一般 510(420)円 高大生 250(170)円 ()内は10名以上の団体料金

*道立近代美術館「近美コレクション」もあわせてご観覧の場合:一般 820(660)円 高大生 410(270)円

*中学生以下、65歳以上は無料。毎週土曜日は高校生無料。



Cafe きねずみ

おいしいコーヒー、
桑園地区のお店のパン、
お菓子などを
お楽しみください。

北海道立 三岸好太郎美術館

〒060-0002 札幌市中央区北2条西15丁目 TEL 011-644-8901

北3条通・知事公館北側 ●地下鉄東西線「西18丁目駅」から約500m

●JR/中央バス(札幌→小樽手稲方面)「道立近代美術館」停留所から約250m

テレホンサービス・011-621-7000 http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/mkb/

